

令和6年度 第1回倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会

選定委員会 議事概要

開催月	令和6年5月	時間	10:00~11:30
-----	--------	----	-------------

1 次第

1 開会 協議会会長あいさつ
2 委員紹介
3 選定委員委嘱
4 協議会規約及び選定委員会細則について
5 選定委員長及び副委員長選出について
6 協議会会長諮問
7 協議
(1) 採択手続きについて
① 令和6年度の採択について
② 採択事務組織について
③ 採択事務日程について
④ 教科書研究について
(2) 研究委員の研究事項報告について
(3) 第2回選定委員会の進め方について
(4) 留意事項について
(5) その他
8 その他
9 閉会

2 協議

発言者	発言要旨
【事務局】	<採択手続きについて> (採択事務組織, 採択事務日程, 教科書研究について説明)
【議長】	この方針でよいか ⇒ よい
	<研究委員の研究事項報告について>

【事務局】	(研究委員構成, 報告内容等について説明)
【議長】	この方針でよいか ⇒ よい <第2回選定委員会の進め方について>
【事務局】	(日程及び審議手順について説明)
【議長】	この方針でよいか ⇒ よい
【事務局】	<留意事項について> (留意事項について確認)

令和6年度 第2回倉敷地区教科用図書採択市町教育委員会協議会

選定委員会 議事概要

開催月	令和6年7月	時間	13:00~16:40
-----	--------	----	-------------

1 次第

1 開 会
2 説 明 研究報告書について
3 協 議 (1) 日程及び審議手順, 評価方法について (2) 答申方法について (3) 選定委員会意見作成について (4) その他
4 報告及び審議
5 閉 会

2 協議

発言者	発言要旨
【事務局】	<日程及び審議手順, 評価方法について>
【選定委員】	(審議手順, 評価方法について確認) 1段落目に「内容の特徴・表現」、2段落目に「構成・配列及び分量、使用上の便宜等」を記入すればよいか。
【事務局】	それでよい。
【選定委員】	代表委員からの報告はABCの基準が分かるように報告があるのか。
【事務局】	「ABC」という評価ではなく、違いがわかるように報告するよう伝えている。違いが分かりにくければ、研究委員の報告後質問して欲しい。
【事務局】	<答申方法について> (答申方法について確認)

【事務局】	<p><選定委員会意見作成について> (様式, 作成方法について確認)</p>
-------	---------------------------------------------------

3 報告及び審議

発言者	発言要旨
【研究委員】	各種目の代表研究委員から報告
	<p><国語・書写についての主な審議></p>
【選定委員】	教科書を見ながら、主体的な学びができるところはどこか。
【研究委員】	教科書を使う中で、情報、内容を適切に選び取り使っていく、自分の力で活動できるところ。
【事務局】	書写の方ではどうか。
【選定委員】	東京書籍、構成・配列がたいへんよく工夫されている。光村図書は、学習の流れ、統一感があり、たいへんよく工夫されているということだったが、具体的にここがよかったというところはあるか。
【研究委員】	東京書籍と光村図書が極めて適していると考えた。東京書籍は主体的に自分で学ぶことができる。デジタルコンテンツが自動再生できる。何度も見ながら自分で学習できる。光村図書はレイアウト、視覚、導線というものが大変工夫されている。全体学習に適しているという話が出た。書写ブックを使うことで全体学習を補う、個人個人で補える。
【選定委員】	書写はどちらが適切か。
【研究委員】	東京書籍、光村図書、両方適していると思う。
	<p><社会・地理・地図についての主な審議></p>
【選定委員】	二次元コードは見たか。特に帝国書院の教科書の二次元コードの使いやすさはどんな感じか。
【研究委員】	帝国書院の二次元コードは、章末ごとに導入等に使える視覚的資料があった。ヒントや子どもたちが考えられる、家庭でも取り組めるような課題やワークシートが工夫されていて、問題等も自分で取り組めるような形で充実していた。
【選定委員】	日本文教出版はないのか。
	日本文教出版もあったが、取り上げるほど充実したものはなかった。
【選定委員】	地理は他の教科とも連携が深い教科だと思っている。1番他の教科と連携しやすいものはどれか。
【研究委員】	研究委員のなかでは帝国書院。各ページの左下にここの分野と関連しているということがほぼ全ページに記載されている。教科と他分野とのつながりという観点では、

	<p>帝国書院が1番分かりやすく示されていると思う。日本文教出版と東京書籍は同じような記載があったが、探さなければならない。帝国書院は同じところにある。</p>
	<p><社会・歴史についての主な審議></p>
【選定委員】	<p>全体的な傾向として学習課題がだいたいどの教科書会社にも設定されていると思うが、内容面に関わることで印象に残ったものはどれか。</p>
【研究委員】	<p>東京書籍。東京書籍を使用しているが、大きな変更がないので、学習者が使いやすい。次に教育出版。少し変わったタイトルから結論に結びつくような学習プランが設定されていておもしろいという意見が出た。3つ目は日本文教出版も扱いやすさで言うと東京書籍と同じ。各ページにQRコードが示されていて、学習課題につながる資料がある。</p>
【選定委員】	<p>文字の小ささ、情報量、見やすさなど印象的なものはどれか。</p>
【研究委員】	<p>東京書籍がまとまっている。生徒が見ても苦にならない分量である。帝国書院も資料は分かりやすいが、文章量が多い。家では学習意欲の低い子には難しい。日本文教出版は、東京書籍と同様分量が適当。東京書籍とどちらを使っても困らない。</p>
	<p><社会・公民についての主な審議></p>
【選定委員】	<p>生徒の学習意欲を高めるという工夫という点でいえば、どこの会社が優れているか。</p>
【研究委員】	<p>帝国書院の教科書だと思う。日本文教出版も極めて適していると感じている。</p>
【選定委員】	<p>同じく、公民的事象の取り扱いでは、特徴の面で言うとどちらの教科書が適しているか。</p>
【研究委員】	<p>これが1番優れているというのはなく、どの教科書も公民的事象に関しては見開きの左上に学習課題、学習の最後にまとめ、確認という作業がある。どの教科書も同じように示されている。</p>
【選定委員】	<p>どの会社も学習課題があるが、学習者である生徒が使うときにより見通しがもてるのはどの会社か。</p>
【研究委員】	<p>1つは帝国書院の教科書。小学校での既習事項を踏まえて捉えさせるところ。もう1つは日本文教出版。二次元コードを使い家庭で学習者が一人で見ても見通しがもてる。</p>
【選定委員】	<p><数学についての主な審議></p>
【研究委員】	<p>数研の(2)「構成・配列及び分量、使用上の便宜等」の観点をもう1回(報告)</p>
【選定委員】	<p>説明がわかりやすかった。</p>
【選定委員】	<p><理科についての主な審議></p>
	<p>啓林館の(2)をもう一度。</p>

【研究委員】	(報告)
【選定委員】	授業をする上で、実験が1ページに縦につながっている教科書と見開きいっぱいになる教科書があるが、どちらが使いやすいか。
【研究委員】	授業をする側は、右のページに実験の手順が載り、情報が1ページにたくさんあるというイメージだが、子どもの思考の過程に沿って手順が説明されている両開きで、スペースをたっぷり使うという方がわかりやすいという話も出た。
【選定委員】	実験の結果が分からないように次のページに結果を載せることが主流になってきたように思う。1ページめくった時に、すぐに結果・考察に入るものと何かのビジュアルがあった後、中盤から結果が書かれている教科書では、生徒はどちらが読み取りやすいか。
【研究委員】	先にビジュアルがあった方が読み取りやすい。毎回実験がうまくいくとは限らないので、生徒がこういう感じなのだを見て学べる。
【選定委員】	東京書籍は詰め込み過ぎている印象があったが、右ページにすべてまとめている。教員がしっかりポイントを押さえるなら、1ページにまとめてある方がわかりやすく、パターン化されている方が、生徒はわかりやすい。
【選定委員】	表紙も含めて単元の導入部分が東京書籍は子どもの気を引くような工夫が多かった。
【研究委員】	教科書を見てみようかなという工夫がされている。とっつきやすい部分が多かった。
【選定委員】	巻末の啓林館のシートは分かりやすいが、どう思うか。
【研究委員】	シートがあれば便利だと思うが、みんなは使わないのではないかな。なくても大丈夫だと考える。
【選定委員】	東京書籍は反射鏡オンリーだが、ライトの方が多くはないか。
【研究委員】	感覚になるが、LEDライトが8割、反射鏡が2割くらいではないか。
【選定委員】	教科書によっては、LEDがメインで反射鏡もありますよという表記だが、反射鏡だけというのはどうなのかと思う。
【選定委員】	東京書籍がたまねぎにしても、つゆ草にしても昔ながらのものを使い良いなと思った。
	<音楽・器楽についての主な審議>
【選定委員】	小学校は「音楽を形づくっている要素」を意識した授業展開になっているが、教育芸術社はその要素が入っていて、巻末には、まとまって掲載されている。専門的に見てどうか。
【研究委員】	教科書の各ページに「音楽を形づくっている要素」が教育芸術社はポイントを絞って示されている。教育出版はもくじに書かれていて、そこをクリックすると確認することができる。
【選定委員】	授業をする上でどちらが使いやすいか。
【研究委員】	教育芸術社の方が開いたときにすぐ見え、ポイントを押さえやすい。

【選定委員】	教育芸術社の方は、教育出版よりも内容が盛りだくさんになっている印象だが、教えることが多くなりすぎるのではないか。
【研究委員】	要点を絞ってやっていけば、多いという印象は受けない。 <美術についての主な審議>
【選定委員】	学習者にとってどの教科書が取り組みやすいか。
【研究委員】	光村図書構成が鑑賞から始まり、そこから表現につながる問いが立てられていることから、めあてがとても立てやすく非常に優れていると思っている。
【選定委員】	QRコードの工夫があると思うが、違いや良さはどこか。
【研究委員】	開隆堂は、ページ数が少ない分、生徒に紹介したい作品をQRコードの中に入れていくという印象がある。光村、日本文教出版は作品に関する補助的なテーマや他教科との関連を入れているという印象をもった。
【選定委員】	<保健体育についての主な審議> 東京書籍が見やすいと思う。研究委員でも、指導者は授業がしやすく、生徒もわかりやすいという意見にまとまったのか。
【研究委員】	そのようにまとまった。
【選定委員】	<外国語についての主な審議> 全体を通して三省堂ニュークラウンの評価が全体的に高かった。違う教科書を使うと文法事項の配列等が変わるが、三省堂だとそのままの形になる。さらに工夫がされているというところを感じ取れた。
【選定委員】	東京書籍、三省堂も「たいへん」という言葉が多かったが、どこがよかったか。
【研究委員】	東京書籍は、英語の語順、日本語の語順について慣れさせる仕掛けがあると思った。文章量が多い。英語の学習を深めたい生徒には興味深い。三省堂は聞くからスタートし、話す、読む、書くと日本語の学習と同じような流れである。指導者にも学習者にも使いやすい形になっている。文章量も適している。
【選定委員】	<道徳についての主な審議> 東京書籍、あかつき図書、「たいへんよく工夫されている」という報告があったが、それぞれの良さをもう一度教えて欲しい。
【研究委員】	東京書籍は、言語活動の手順が具体的に示されている。②の観点において、物事を多面的に見たり、多角的に考えたりするための手法が載っている印象。あかつきは①の観点、④の観点においてたいへんすぐれていると感じた。質問がよく工夫して練られている。現行の教科書は古い題材が多かったが新しい題材が今の時代に合わせて入っている。新しい考え方、情報モラルについても考えやすい。
【選定委員】	(2)の観点のところで、各会社でどのような工夫があったか。
【研究委員】	35時間分を基本としてみたが、34時間があったり、35時間+付録があったりした。どの教科書もデジタル教材があった。導入部分で興味・関心をもたせることが

<p>【選定委員】</p>	<p>できる。東京書籍の心情円が使いやすいとの声もあった。 東京書籍、あかつき図書が極めて適しているとあったが、全体として、「これは」というものはあるか。</p>
<p>【研究委員】</p>	<p>あかつき図書、東京書籍が「極めて、たいへん」が多いが迷っている。観点ごとに見ると①、②の観点は東京書籍、②、④の観点はあかつき図書。それぞれ2つずつ。読みものを深く読もうとするとあかつき図書。しっかりと考えられるのではないかという意見が出た。</p> <p>(審議の後、選定委員の総意として答申を作成。)</p>